

立ちどまらない保険。

MS&AD MS&ADホールディングス

証券コード：8725

MS&AD Report

中間ご報告 2014.4.1 ▶ 2014.9.30

CONTENTS

1 TOP MESSAGE

- 3 業績ダイジェスト（2014年度中間期）
- 8 トピックス
- 9 会社概要／役員／株式の状況
- 10 株主メモ



TOP MESSAGE

持続的成長と企業価値向上を追い続ける 世界トップ水準の保険・金融グループを創造します。

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに2014年度中間期（2014年4月1日から2014年9月30日まで）のご報告をお届けします。今年度も台風や豪雨が日本を襲い、広島の土砂災害や戦後最大の火山災害となった御嶽山の噴火などでは多くの方が被災されるなど、自然災害がいくつ

も発生しました。被災された皆さまには、心よりお見舞いを申し上げます。

当中間期のわが国経済は、消費税率引き上げの影響が一部に見られるものの、政府による経済・金融政策等により企業収益の改善が見られ、緩やかな回復傾向で推移いたしました。

こうした環境下、当中間期の当社グループ連結業績では、国内損保の正味収入保険料は自動車・自賠責の料率改定効果等により増収したことに加え、海外保険子会社も増収となり1兆4,855億円と前年同期比605億円の増収となりました。

当中間期の経常利益は、前年同期比50億円減少し1,580億円となりました。中間純利益は、前年同期比1億円増加し、1,096億円となりました。

今年度から「統合の進化・発展期間」と位置付ける中期経営計画「Next Challenge 2017」がスタートし、計画の取組みの軸となる「機能別再編」につきましては、主要損保2社と生保1社間の契約の移行等は順調に進んでおり、各社の特長を活かした新



取締役社長

柄澤康喜

商品やサービスの展開にもつながり、当社グループの多様性が強化されております。2017年度までの計画期間、目標達成に向け基本戦略である成長の持続、健全性の確保、および収益性と資本効率の向上を基軸に、グループ全体としての企業価値を向上させてまいります。

当社におきましては、国内自動車保険を中心とする保険収支の改善および市場環境の好転による運用収益の向上などを受けて、11月19日に2015年3月期（通期）の連結業績予想の上方修正を行いました。株主還元として2014年度中間配当金は、1株あたりの配当を1円増配し、29円とさせていただきます

た。また2014年11月20日から2015年3月24日を取得期間として100億円および600万株を上限に自己株式取得をすることを決定しております。

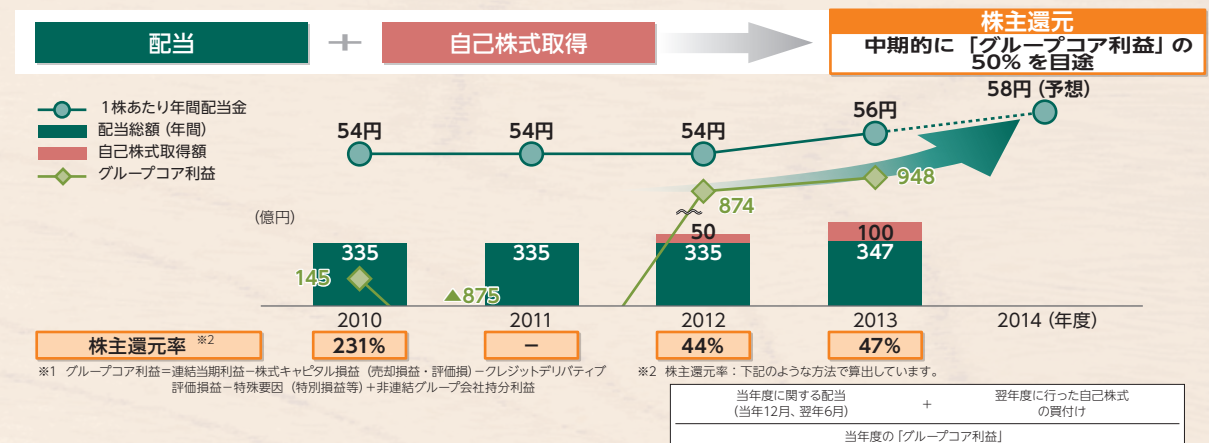
新経営体制になり半年経過しましたが、当社グループは、グループ各社の特色・強みを活かし、グループの総合力を結集しスピード感を持って持続的な「成長」と「効率化」を同時に実現し、世界トップ水準の保険・金融グループを目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年 12月

株主還元方針について

中期的に「グループコア利益」^{*1}の50%を目処に株主還元を行ってまいります。また、配当水準は安定性維持を基本とし、収益力をさらに高めて中期的に増配基調を目指すとともに、自己株式の取得は、市場環境・資本の状況も勘案して機動的・弾力的に実施します。



業績ダイジェスト (2014年度中間期)

MS&ADホールディングスの状況 (連結)

正味収入保険料は、国内損害保険子会社、海外保険子会社ともに好調に推移し、プラス4.2%の1兆4,855億円となりました。

国内生命保険子会社2社につきましても引き続き販売好調であり、新契約件数を順調に伸ばしております。(P.7参照)
中間純利益については、多額の有価証券売却益を計上した前年同期に比べ資産運用収益は減少しましたが、正味収入保険料の増収に加え、損害率が改善し保険引受利益が増益となったことなどから、前年同期比プラス1億の1,096億円と昨年度に引き続き最高益を更新しました。

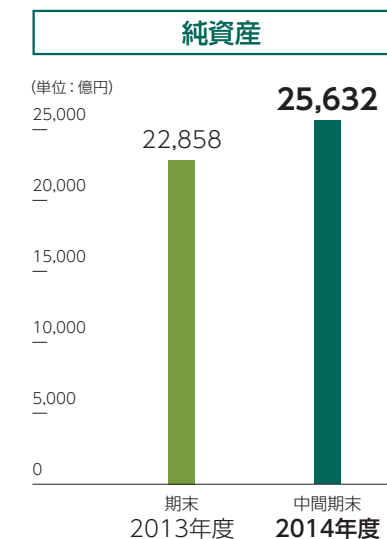
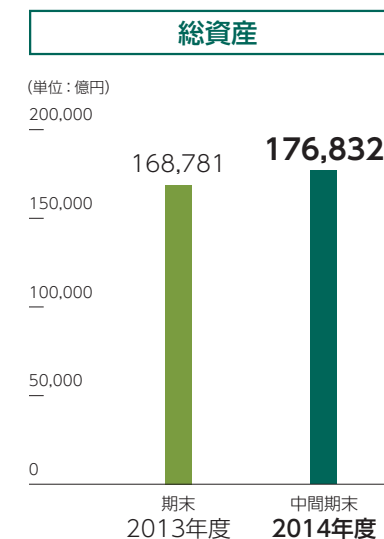
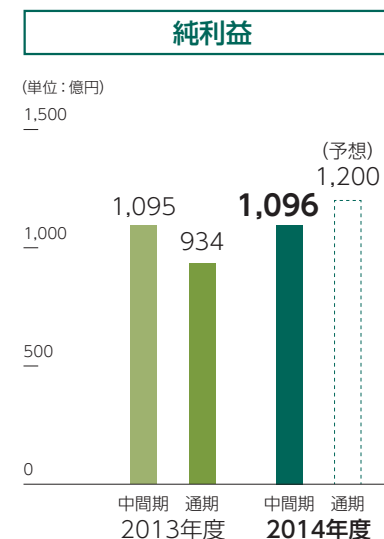
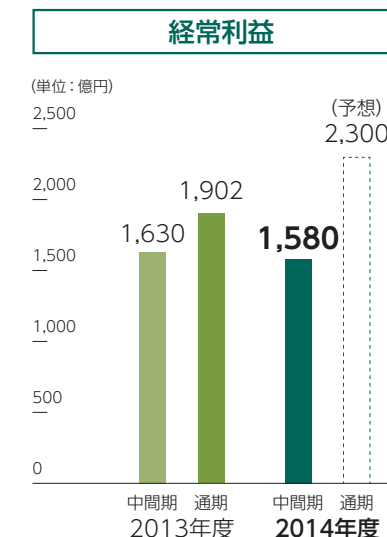
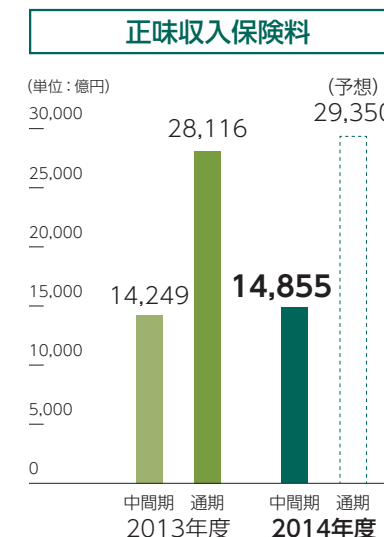
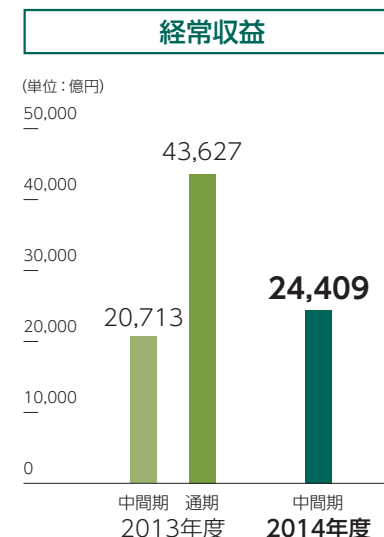
なお、想定を上回って業績が推移していることから、以下のとおり業績予想の上方修正を行っております。

	2013年度 中間期	2014年度 中間期	増減額	増減率 (%)
経常収益	20,713	24,409	3,696	17.8
保険引受収益	17,348	21,249	3,901	22.5
正味収入保険料	14,249	14,855	605	4.2
資産運用収益	3,314	3,083	△231	△7.0
その他経常収益	50	76	25	51.1
経常費用	19,082	22,828	3,746	19.6
保険引受費用	15,864	19,834	3,970	25.0
資産運用費用	472	137	△335	△70.9
営業費及び一般管理費	2,599	2,803	204	7.9
その他経常費用	145	52	△93	△63.9
経常利益	1,630	1,580	△50	△3.1
中間純利益	1,095	1,096	1	0.1
総資産	168,781 ^(※)	176,832	8,051	4.8
純資産	22,858 ^(※)	25,632	2,774	12.1

(※) 2013年度末の数値を掲載しています。

■業績予想の上方修正について

	正味収入保険料	経常利益	当期純利益	グループコア利益
年初業績予想	29,250	1,500	1,000	1,000
修正後業績予想	29,350	2,300	1,200	1,200
増減額	100	800	200	200

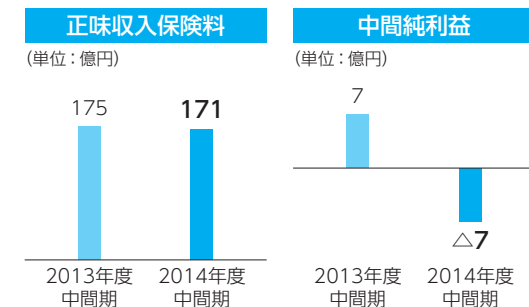
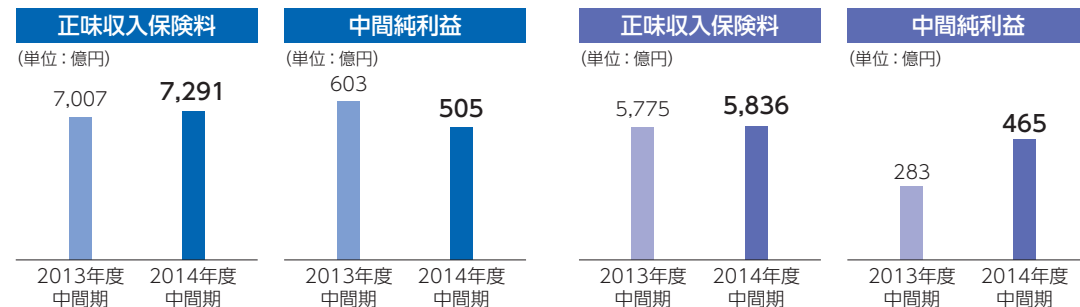


(注) 経常収益については、業績予想を行っておりません。

詳しくは当社WEBサイト「決算短信」をご参照ください。http://www.ms-ad-hd.com/ir/library/earnings.html

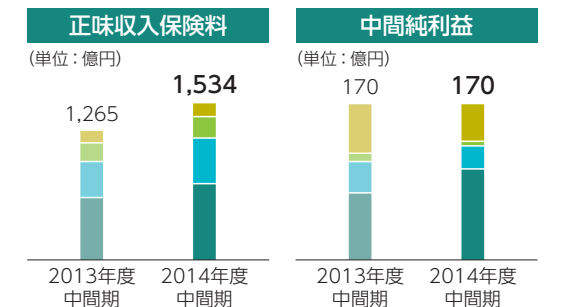
損害保険子会社における主要財務データ

	三井住友海上 (単体)			あいおいニッセイ同和損保 (単体)			三井ダイレクト損保 (単体)		
	2013年度 中間期	2014年度 中間期	比較増減	2013年度 中間期	2014年度 中間期	比較増減	2013年度 中間期	2014年度 中間期	比較増減
正味収入保険料	7,007	7,291	284	5,775	5,836	61	175	171	△3
(対前期増減率)	5.0%	4.1%	—	3.9%	1.1%	—	0.6%	△2.1%	—
正味損害率	63.9%	61.5%	△2.4%	62.8%	63.4%	0.6%	76.3%	77.8%	1.5%
正味事業費率	31.2%	31.5%	0.3%	33.8%	34.9%	1.1%	21.4%	22.4%	1.0%
コンバインド・レシオ	95.1%	93.0%	△2.1%	96.6%	98.3%	1.7%	97.7%	100.2%	2.5%
保険引受利益	310	285	△25	108	392	284	7	△7	△14
資産運用損益	664	443	△221	276	169	△106	0	0	△0
経常利益又は 経常損失 (△)	873	712	△161	400	573	172	7	△6	△14
中間純利益又は 中間純損失 (△)	603	505	△98	283	465	182	7	△7	△15
(対前期増減率)	490.7%	△16.3%	—	—	64.3%	—	△8.0%	—	—
純資産	13,096 ^(※)	14,732	1,635	6,001 ^(※)	7,012	1,010	112 ^(※)	104	△7
単体ソルベンシー・ マージン比率	600.3% ^(※)	619.9%	19.6%	754.0% ^(※)	792.5%	38.5%	420.8% ^(※)	374.0%	△46.8%



海外保険子会社の状況

	(単位: 億円)		
	2013年度 中間期	2014年度 中間期	比較増減
正味収入保険料	1,265	1,534	269
■ アジア	604	740	136
■ 欧州	353	447	93
■ 米州	183	210	26
■ 再保険	123	137	13
中間純利益	170	170	△0
■ アジア	72	96	24
■ 欧州	34	25	△8
■ 米州	9	5	△4
■ 再保険	54	41	△12



(注) 1. 上記の表およびグラフは、三井住友海上の独自商品である自動車保険「もどリッチ (満期精算型払戻金特約付契約)」の払戻充当保険料を控除したベースで記載しております。

2. 正味損害率= (正味支払保険金+損害調査費) ÷ 正味収入保険料×100

3. 正味事業費率= (諸手数料及び集金費+保険引受に係る営業費及び一般管理費) ÷ 正味収入保険料×100

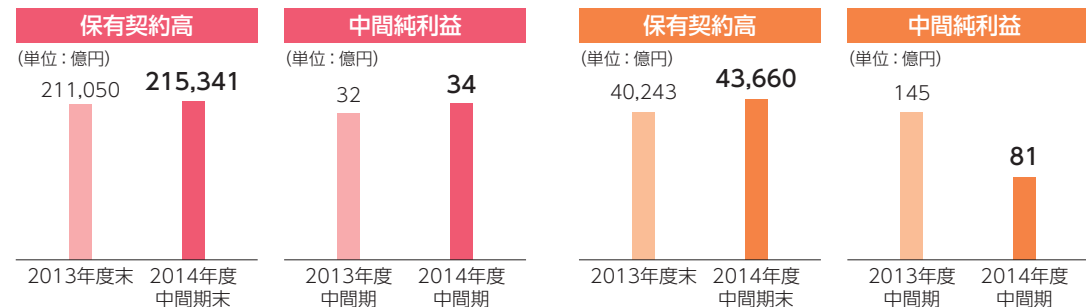
(注) 4. コンバインド・レシオ=正味損害率+正味事業費率

5. 単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な指標の一つであり、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。

(※) 2013年度末の数値を掲載しています。

国内生命保険子会社における主要財務データ

	三井住友海上あいおい生命 (単体)			三井住友海上プライマリー生命 (単体)		
	2013年度 中間期	2014年度 中間期	比較増減	2013年度 中間期	2014年度 中間期	比較増減
新契約件数	122,468件	175,769件	53,301件	54,513件	89,252件	34,739件
保有契約高	211,050 ^(※)	215,341	4,290	40,243 ^(※)	43,660	3,416
保有契約年換算保険料	3,358 ^(※)	3,460	101	4,543 ^(※)	4,694	151
基礎利益	64	84	20	301	74	△227
中間純利益	32	34	1	145	81	△63
純資産	1,319 ^(※)	1,480	160	892 ^(※)	960	68
単体ソルベンシー・ マージン比率	1,264.9% ^(※)	1,327.3%	62.4%	1,004.6% ^(※)	889.4%	△115.2%



- (注) 1. 新契約件数、保有契約高、保有契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計を記載しています。
 2. 保有契約年換算保険料は、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額を示しています。
 3. 基礎利益は、保険本業の収益を示す指標の一つで、「経常利益」から「キャピタル損益」と「臨時損益」を控除したものです。
 4. 単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な指標の一つであり、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。

(※) 2013年度末の数値を掲載しています。

トピックス

MS&ADみんなの地球プロジェクト

MS&ADグループは、「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支える」ことを経営理念（ミッション）としています。

中期経営計画「Next Challenge 2017」の中では、「社会的課題解決への貢献」をグループ基本戦略のひとつとし、グループ全社・全拠点で、社員一人ひとりが環境・社会貢献取り組みを実践する「MS&ADみんなの地球プロジェクト」を推進しています。プロジェクトの活動の一部をご紹介します。

■ 豪雨災害からの復旧支援

2014年8月19-20日、広島市において局地的豪雨により複数の土砂災害が発生しました。復旧のため三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、三井住友海上あいおい生命の社員36名が、8月30-31日に土砂の撤去作業を行いました。



安佐南区・安佐北区にて土砂撤去作業の様子

■ JPFA サッカースクール

児童養護施設等の子どもたちを対象としたJPFA（日本プロサッカー選手会）のサッカースクールに協賛し、社員がボランティアとして運営をサポートしています。2014年度は、南三陸町 佐藤寿人選手と関東、関西、広島で開催したのに加え、宮城県南三陸町でも地元の小学生向けに開催し、全体で253名の子どもたちが現役Jリーガーとのサッカーを楽しみ、グループ社員72名が運営ボランティアとして協力しました。



■ 水辺・湿地を保全する取り組み

ラムサール条約に登録された湿地を中心に、多様な生きものが暮らす水辺の生物多様性保全活動「MS&AD ラムサールサポーターズ」には、全国で毎年1000名を超えるグループ社員が参加し、外来種の駆除や清掃活動、生きもの調査を行っています。2014年10月には、「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」の連携事業として認定を受けました。



栃木県 渡良瀬遊水地 (ラムサール条約湿地) での葦刈り活動に社員167名が参加



大分県 タデ原湿原 (ラムサール条約湿地) での外来植物の駆除活動に社員51名が参加

会社概要／役員／株式の状況

会社概要 (2014年9月30日現在)

社名	MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
本店所在地	東京都中央区八重洲一丁目3番7号 (2014年10月1日付で、本店所在地を東京都中央区新川二丁目27番2号に移転しております。)
設立	平成20年(2008年)4月1日
資本金	1,000億円
従業員数	38,454名(連結)

役員 (2014年9月30日現在)

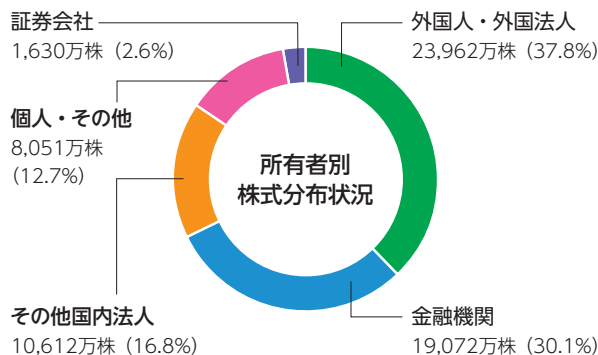
取締役会長(代表取締役)	会長執行役員	鈴木 久仁
取締役社長(代表取締役)	社長執行役員	柄澤 康喜
取締役(代表取締役)	執行役員	江頭 敏明
取締役(代表取締役)	執行役員	土屋 光弘
取締役	副社長執行役員	藤本 進
	専務執行役員	田中 敏彦
取締役	専務執行役員	藤井 史朗
	執行役員	西方 正明
取締役	執行役員	金杉 恭三
取締役	執行役員	柳川 南平
	執行役員	上野 晋
	執行役員	三浦 浩
取締役	執行役員	宇井 純一
	執行役員	吉川 哲也
	執行役員	松本 雅弘
	執行役員	平野 幹人
社外取締役		渡邊 顯
社外取締役		角田 大憲
社外取締役		小川 是
社外取締役		松永 真理
監査役(常勤)		池田 克朗
監査役(常勤)		吉野 二良
社外監査役		安田 莊助
社外監査役		野村 晋右
社外監査役		手塚 裕之

株式の状況 (2014年9月30日現在)

■発行済株式の総数	633,291,754株
■株主数	69,562名
■大株主状況(上位10名)	

株主名	保有株式数(万株)	持株比率(%)
トヨタ自動車株式会社	5,261	8.3
日本生命保険相互会社	3,632	5.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,757	4.4
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	2,580	4.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,278	3.6
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	1,731	2.7
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	988	1.6
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	828	1.3
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	669	1.1
NATSCUMCO	638	1.0

* 当社は自己株式1,735万株を保有していますが、上記大株主から除いています。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内に開催します。
配当の基準日	期末配当金：毎年3月31日 中間配当金：毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所(郵送物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社および三菱UFJ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告の方法により、下記ホームページに掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。 http://www.ms-ad-hd.com/ir/notification/index.html

お問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031

三菱UFJ信託銀行株式会社
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711

株式に関するお手続きについて

- お受け取りがお済みでない配当金を受け取るお手続き
三井住友信託銀行までお申し出ください。
なお、配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、当社定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。
- その他のお手続き
 - 証券会社に口座をお持ちの場合
お取り引きの証券会社へお申し出ください。
 - 証券会社に口座をお持ちでない場合
特別口座での管理となっておりますので、三井住友信託銀行または三菱UFJ信託銀行へお申し出ください。

【お手続きの例】

- ご住所の変更
- 今後の配当金受取口座のご指定
配当金領収証でのお受け取りのほか、口座等への振込のご指定もできます。
- 単元未満株式の買取・買増のご請求
証券取引所で売買できない、100株未満の株式(単元未満株式)につきましては、買取・買増のご請求により整理することができます。

●例えば…当社株式を150株ご所有の場合

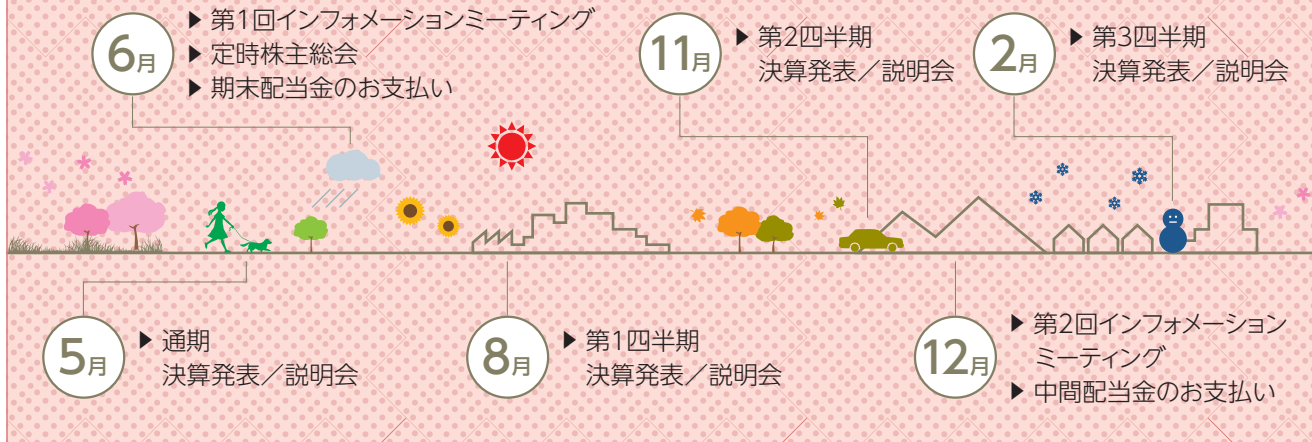
買取請求 当社に株式の買取をご請求 いただく方法	買増請求 当社から株式を買い増して 100株単位としていただく方法
株主さまのご所有の150株のうち、当社が50株を買い取ります。	株主さまのご所有の150株に加え、当社が50株を買い増します。

- ▶株主さまのご所有の株式は100株となります。
- ▶株主さまのご所有の株式は200株となります。



- 特別口座からの振替手続き
特別口座の株式につきましては、単元未満株式の買取・買増のご請求のほかは売買ができませんので、証券会社に開設された口座への振替をお勧めします。

年間IRスケジュール (予定)



WEBサイトのご案内

<http://www.ms-ad-hd.com>

MSAD

検索



当社WEBサイトでは、株主・投資家の皆さまへのIR情報・財務情報をはじめ、最新のニュースや社会貢献活動への取り組みなど、さまざまな情報を掲載しております。

2014年度からスタートした新中期経営計画の解説ページを作成し、合わせて社長インタビュー動画も配信しております。ぜひご覧ください。

立ちどまらない保険。

MS&AD MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目27番2号 東京住友ツインビルディング西館

表紙の写真：富山県中新川郡立山町

